

## 平成19年度 決算報告書

国立大学法人福岡教育大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,971	3,971	0	
施設整備費補助金	625	625	0	
補助金収入	15	16	1	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	29	29	0	
自己収入	1,889	1,940	51	
授業料及入学金検定料収入	1,863	1,897	34	(注1)
雑収入	26	43	17	(注2)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	56	150	94	(注3)
目的積立金取崩	59	65	6	(注4)
計	6,644	6,796	152	
支出				
業務費	4,414	4,092	△ 322	
教育研究経費	4,414	4,092	△ 322	(注5)
一般管理費	1,505	1,380	△ 125	(注6)
施設整備費	654	654	0	
補助金等	15	16	1	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	56	109	53	(注7)
計	6,644	6,251	△ 393	
収入－支出	0	545	545	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 入学料については、予算積算時の入学者数、免除申請者数の見込みと実績の差により、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。  
授業料については、休・退学者数見込み数と実績の差により、予算額に比して決算額が23百万円多額となっています。
- (注2) 雑収入については、予算計上できなかった男子寮の火災に伴う保険金や心理教育相談料・社会人の学び直しニーズ対応教育推進事業受講料、国内研究員研究料、科研費間接経費等による収入(14百万円多)があり、また、学校財産貸付料・自販機手数料収入の増加(3百万円多)などから、予算額に比して決算額が17百万円多額となっています。
- (注3) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めた結果、寄附金収入が68百万円、受託研究・受託事業収入が26百万円多額となっています。
- (注4) 目的積立金取崩については、予定されていた工事等については経費削減努力を図りましたが(10百万円少)、教育研究環境整備の重要性から女子寮の改修工事のために取崩を行ったため(16百万円多)、予算額に比して決算額が6百万円多額となっています。
- (注5) 教育研究経費については、教員退職手当の次期への繰越による支出減(244百万円少)、中・長期的な人件費の所要額の見直し(82百万円少)、経費削減努力(2百万円少)、注4で示した理由による支出の増加(6百万円多)等の理由により、予算額に比して決算額が322百万円少額となっています。
- (注6) 一般管理費については、役員・職員退職手当の次期への繰越による支出減(86百万円少)、中・長期的な人件費の所要額の見直し(41百万円少)、経費削減努力(5百万円少)、教育研究環境整備の重要性に鑑みた工事等の前倒し実施(外灯増設、耐震二次診断等、7百万円多)等の理由により、予算額に比して決算額が125百万円少額となっています。
- (注7) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、注3で示した理由等により支出が増加し、予算額に比して決算額が53百万円多額となっています。